

ソフトウェア開発演習 引きこもり防止目覚まし

学籍番号: 牧原健太郎

開発背景 序

ある日の夜

ぼく「よーし！明日は早起きして朝から研究室で課題をやるぞ！」

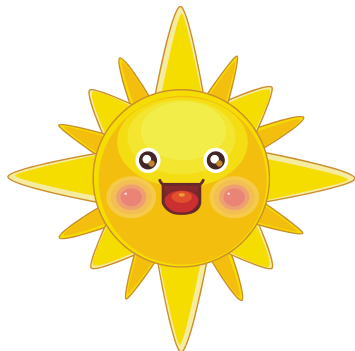


開発背景 破

翌朝

ぼく「起きたけどよく考えたら研究室行く必要ないな。家でも課題できるし。」

ぼく「まだ課題の期限まで時間あるし、今日は家にひきこもろう。」



開発背景 Q

その日の夜

ぼく「結局一日中家でゴロゴロしてたら終わってしまった。
まあまだ課題の期限まで時間あるし」



開発背景 : ||

課題提出前日

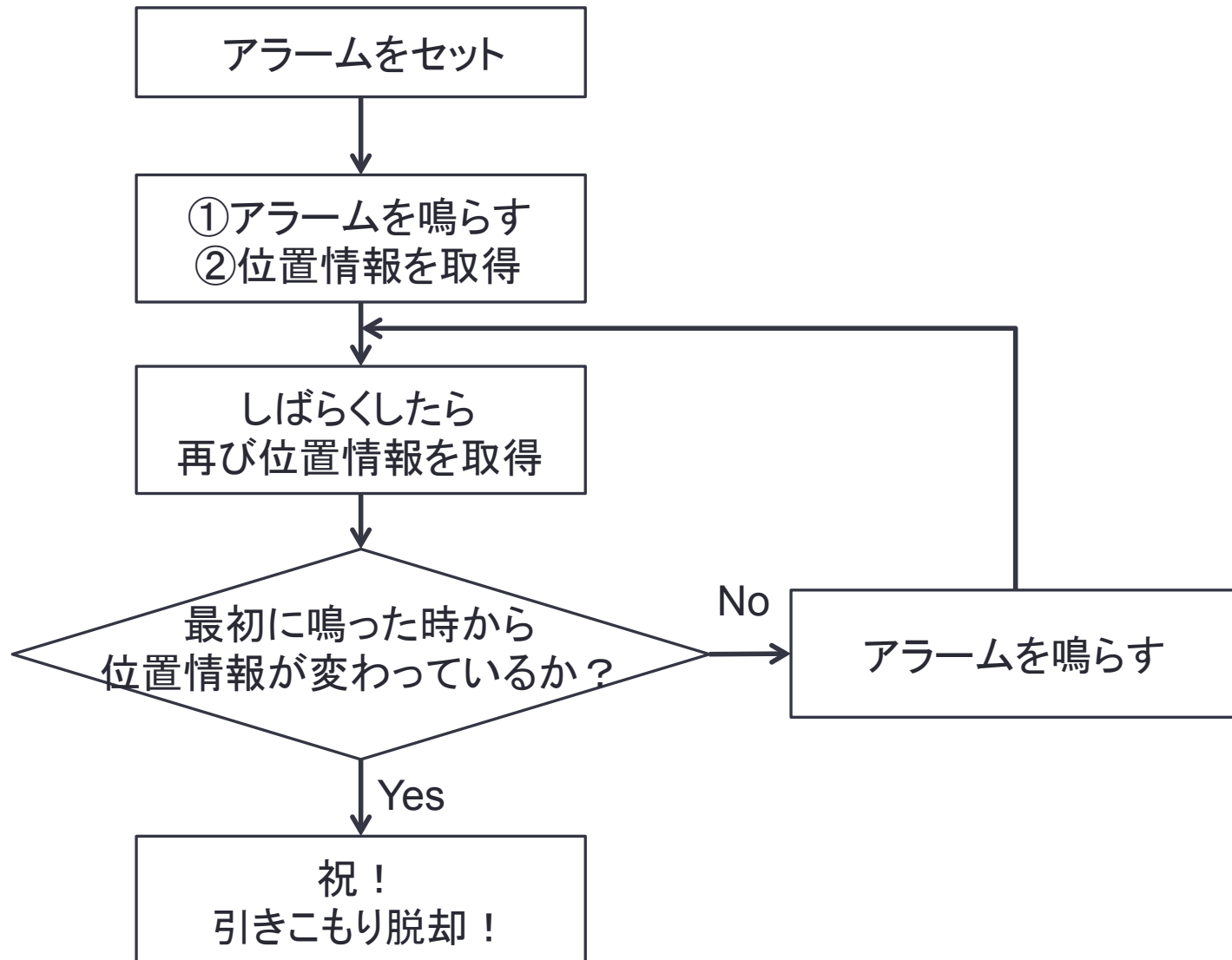
ぼく「あああああああああああああああああああああああ
あああああああああああああああああああああああああああ
あああああああああああああああああああああああああああ」



なぜこうなったのか

- 二度寝しているわけではない
 - 朝は弱くない
- 起きていながら家を出ていないのが問題
 - 研究室に行けば課題をやるだろう
- →起きた後に家を出なければ怒られる目覚まし

引きこもり防止目覚まし



実装上の工夫

- センサーを使いながら**自分の身の丈に合うもの**を選んだ
- アラームが設定された時間に本体がスリープしていてもアラームが鳴らせるようにした
- アラームのActivityが開かれている状態のままもう一度アラームの時間になったら再び位置情報の取得を行えるようにした
- アラームをアラーム用のStreamTypeで流すようにしたのでマナーモードとかでもアラームが鳴る

ご静聴ありがとうございました

課題提出直前のぼく

